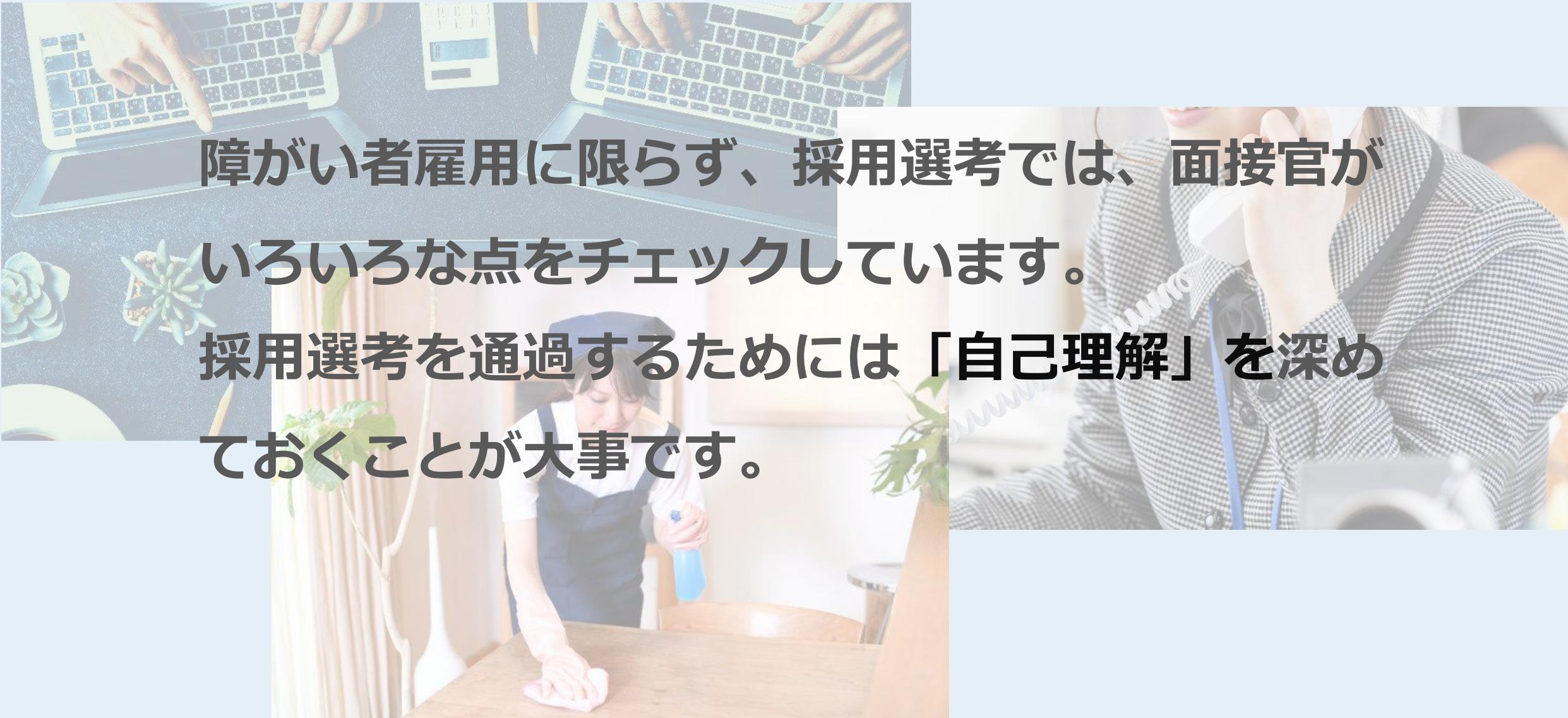


企業が教える！

面接官はココを見ている！
～自己理解編～

はじめに



障がい者雇用に限らず、採用選考では、面接官が
いろいろな点をチェックしています。
採用選考を通過するためには「自己理解」を深め
ておくことが大事です。

本日の流れ

- ・障がい者雇用とは
- ・働くとは何？
- ・「職業準備性」と採用までの流れ
- ・自己理解の目的
- ・自己理解のポイント
- ・まとめ



障がい者雇用とは

事業主や自治体などが、障がいのある方を対象とした雇用枠「障がい者雇用枠」で雇用することです。障がいのある方が働く機会を得やすくするために設けられているのが障がい者雇用枠です。

障がい者雇用の場合は、障がいがあることがわかったうえで雇用されるため、障がいの特性や体調などへの配慮を受けやすくなります。職場環境が合っていない場合、体調や障がい特性に配慮した環境整備をしてもらえる可能性があります。



障がい者雇用とは

合理的配慮

合理的配慮とは、障がいのある方が障害のない方と平等な機会を得られるように、個々の状況に応じて起こる妨げとなる事柄や困りごとを改善するための、個別の対応や支援のことです。

合理的配慮の例

- ・時差出勤や、在宅勤務の対応をする
- ・定期的な休憩時間を設ける
- ・業務マニュアルなどを作成して作業手順を分かりやすく示す



国は事業主に対して、障がいのある方と企業側での合意のもと、お互いが無理のない範囲で、配慮を提供する義務 (合理的配慮) を義務づけています。
ただし、中には配慮できないこと、難しいこともあります。

「働く」とは何？

「働く」とはどういうことか

【働く】 → 仕事をして、その**対価**に**給与**を得ること

本来は、やった仕事に対して給料が支払われるという仕組み



つまり・・・

【給与を得る】には

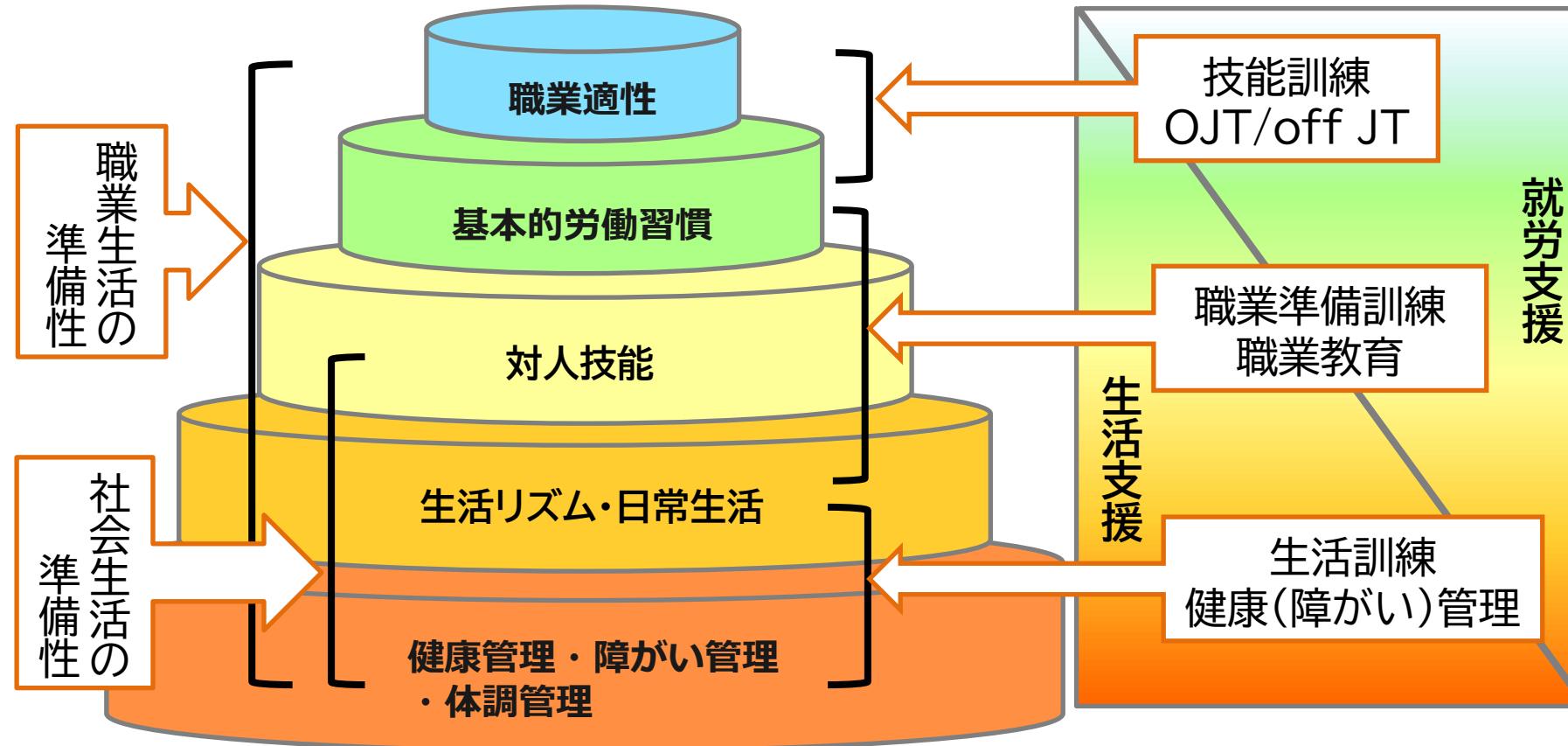
与えられた仕事を遂行する**責任**がある。
自分でも**努力**で補える部分を把握し、
自己の向上に努める**義務**がある。



「職業準備性」とは？

「職業準備性ピラミッド」

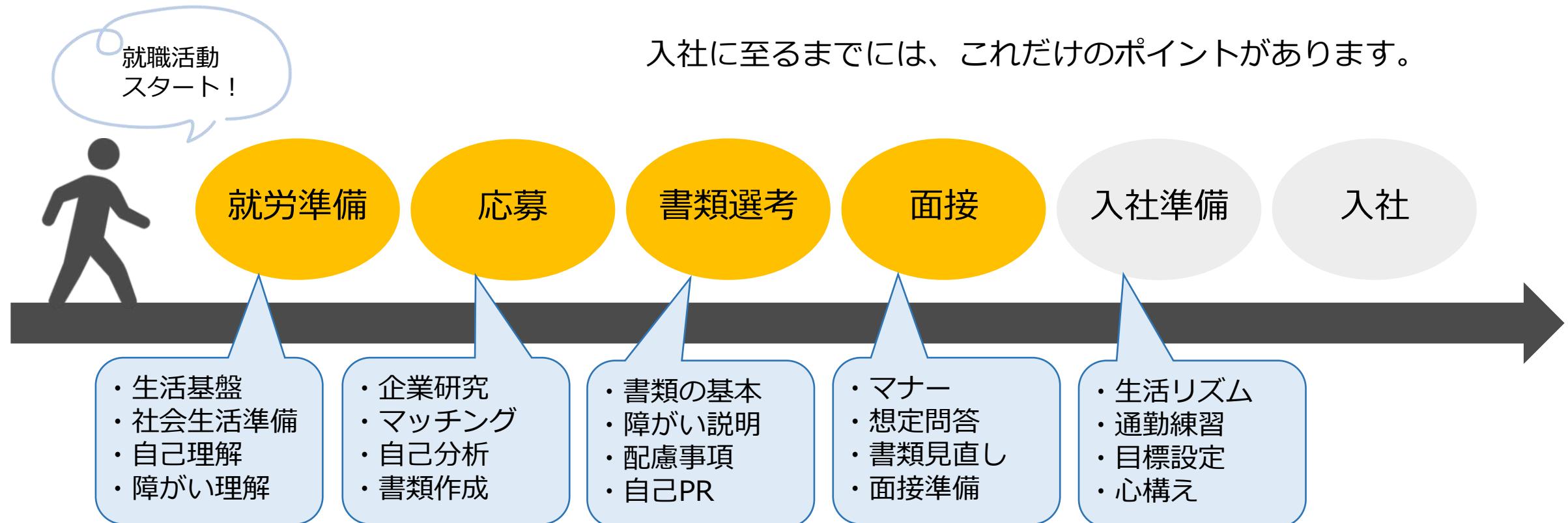
→安定した就労に向けて、どのような準備が必要か示した図



面接官は、
応募者のピラミッドが
どこまで
積みあがっているのかを
応募書類や面接から
読み取っています。

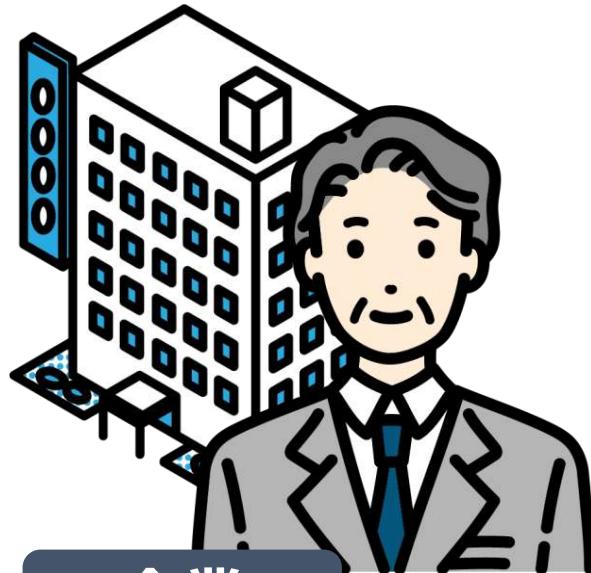
採用までの流れ

就職活動は、以下の流れで進んでいきます。



就職に大切なこと

「自己理解」とは何か？



安定して長く働く、
業務にしっかり取り組める人



適切な障がい理解と、
安心できる環境で長く働くこと

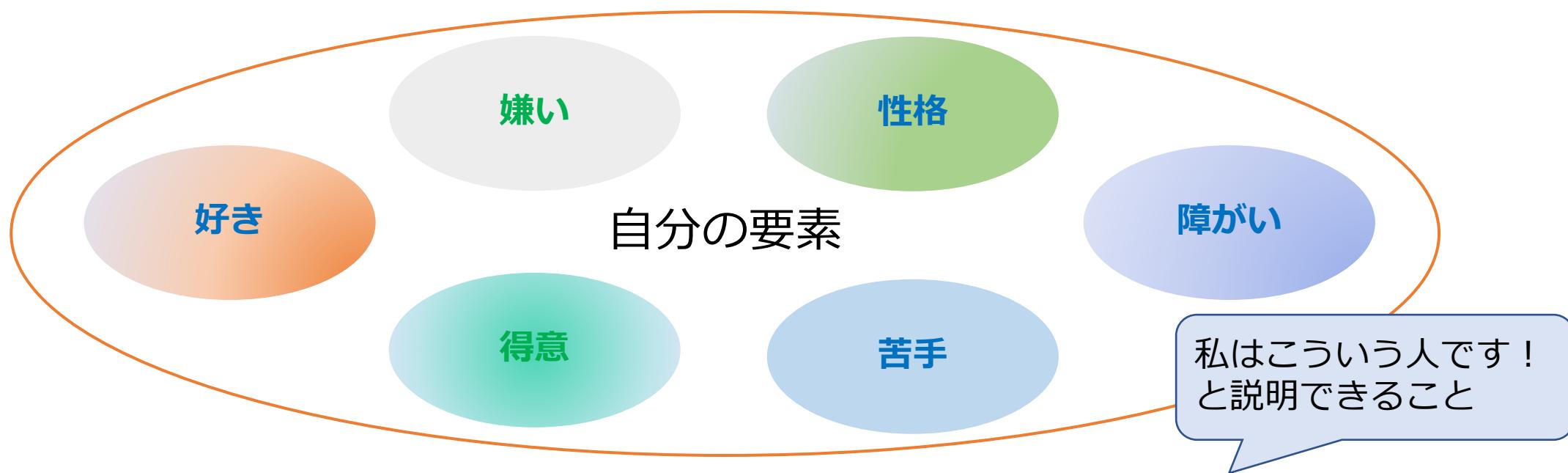
お互いがベストな状況になるためには、

自己理解をすること

自己分析・自己理解とは？

「自己理解」とは何か？

自己分析 = 自分がどんな人間か、細かいところまで理解すること



この要素を総合的に理解することが「自己理解」

自己理解の目的

自己理解の目的

- ・企業選びの軸を明確にするため
- ・面接官に自分のことを伝えられるようになるため
- ・キャリア形成を目指していくため …など

明らかにする
理解する

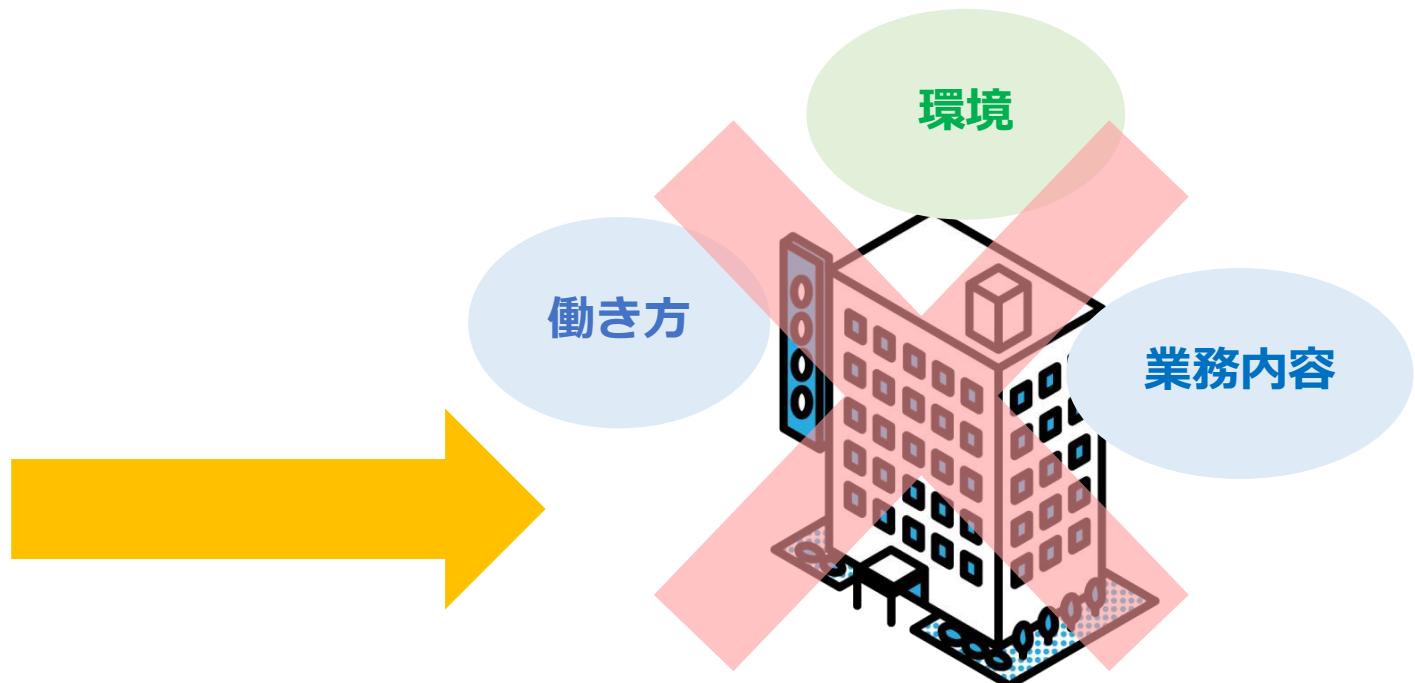
業務内容を含め企業との
ミスマッチを防ぐため

自己理解はなぜ必要？

「自己理解」はなぜするの？



自分の傾向からどんな
企業が合うのかを理解していないと



ミスマッチが起きる



安定して働き続けることが難しくなってしまう…

自己理解はなぜ必要？

入社後に後悔しないためにも

自分を理解した上で、
応募したい企業と合っているかを検討すること

会社と自分が合っているか
じっくり考えてきてるかな？



面接官がみている自己理解のポイント

- ◆ポイント1：自分で体調・健康管理ができている
- ◆ポイント2：自分の特性を理解している
- ◆ポイント3：自分で対処法を見つけ、実践している
- ◆ポイント4：得意なこと、不得意なことがわかっている

◆ポイント1：自分で体調・健康管理ができている

面接官の視点

- ・安定して働くためには何が大事かを理解しているか
- ・どのような時に体調が崩れやすいのか、体調が崩れた時の症状を自分で理解しているか
- ・日頃から予防したり気をつけていることがあるか
- ・体調が崩れたらどう対処するのか

健康や体調管理のために、心がけていることはありますか？



体調管理には気をつけてます。

具体的に何をしているのか？

自己管理は働くために欠かせないこと
体調を崩したときの対処法を考えておく

面接官の視点

面接官の視点：「通勤」



- ・今まで電車で通学や通勤の経験をしたことがない
 - ・体力にはあまり自信がない
- という場合も**大丈夫かな？**と心配になることも...

面接官の視点：「通勤」

自分がしてきた対応や努力

- ・話し声が聞こえなければ、落ち着いていられる
- ・苦手なのは乗り換えの時だけかも

通勤に対して、問題ないといえる理由

- ・人混みは苦手だが、朝の電車は静かだから大丈夫。
- ・通勤の経験はないが、普段から電車に乗ることが好きで慣れている



自分の実体験を基に**対策を考えよう！**

◆ポイント2：自分の特性を理解している

自分の障がい特性として、
どのようなことがありますか？



障がい名は、〇〇で
一般的には〇〇と言われています！

本当に理解できているのかな…
と受け取ることも

障がい特性は、症状や特性は人によって異なる
自分の言葉で説明できるようにしておくこと

例) 特性：不安になりやすい

どのような場面でどんな時に不安を感じるのか？

- ・不安を感じるのは**初めてやること**に対してが多い
- ・不明点を**確認できれば**大丈夫
- ・**担当者が明確であれば**質問しやすい



▼

不安に対する具体的な取り組みの説明

初めての作業は不安を感じやすいが、相談する担当者が決まつていれば、質問しながら業務に慣れていく事ができる



◆ポイント3：自分で対処法を見つけ、実践している



「配慮してほしい」とお願いばかりの視点で考えると
良い印象にならないかも…

例) 特性：覚えるのが苦手で、作業スピードに自信がない



- メモをとり、確認や質問する時間があれば自分で作業を進めていくことはできる

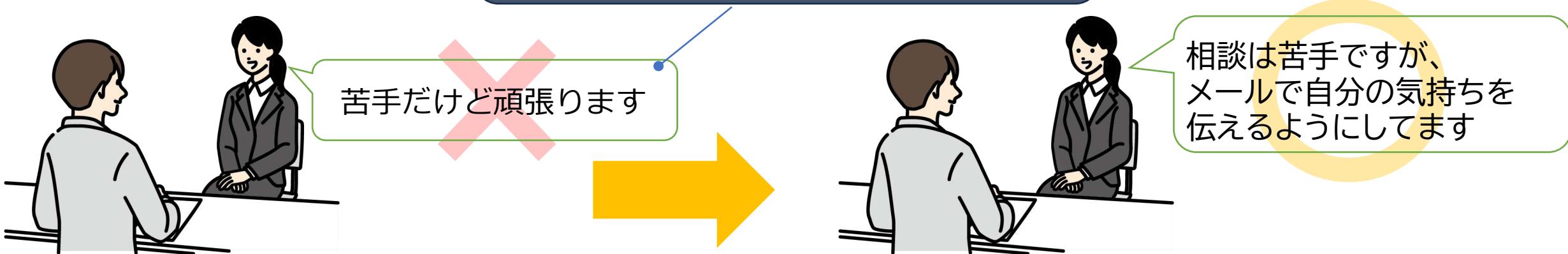


- 作業スピードは遅いかもしれないが、業務が覚えられたら確認して進められる

工夫や配慮があれば、ここまででは出来るなど具体的だと
仕事上でどのように配慮すればよいのかわかりやすい

例) 特性：人との関わりで「報連相が苦手」

- ・どうして苦手なのか？
- ・報連相のどの部分が苦手なのか？
- ・どうやればできるようになるのか？



自ら対処法を見つけ実践していること

= **努力している姿勢が見える**

→業務に対しても前向きにチャレンジしてくれそうといった印象に

◆ポイント4：得意なこと、不得意なことがわかっている

仕事を選ぶポイントで大切なこと

やりたいこと

得意なこと



「自分が出来ること」
を考える



得意・不得意が理解できていないと、
仕事選びの視点がはっきりしない

面接官の視点

仕事選びの根拠は何か？

- ・得意なこと
- ・苦手なこと
- ・やりたい仕事
- ・出来ることを整理しておく

例)



事務業務ができる方を
募集してます。

3名の応募者



Aさん

事務系の仕事がしたい
前職も事務だったが、
ミスが多くてうまくいかなかった
ミスを減らす訓練をした



Bさん

事務系の仕事がしたい
前職は作業系で未経験だが、
訓練でPCを学び資格も取得した
正確性を褒められた

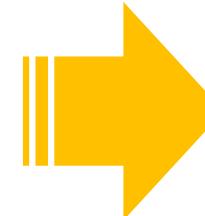
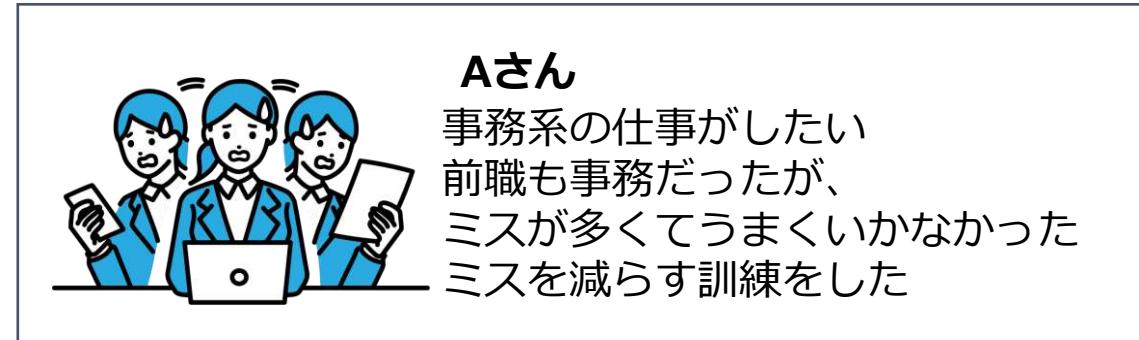


Cさん

事務系の仕事がしたい
PC入力のアルバイトは3日間経験
今は工場で
検品のアルバイトをしている

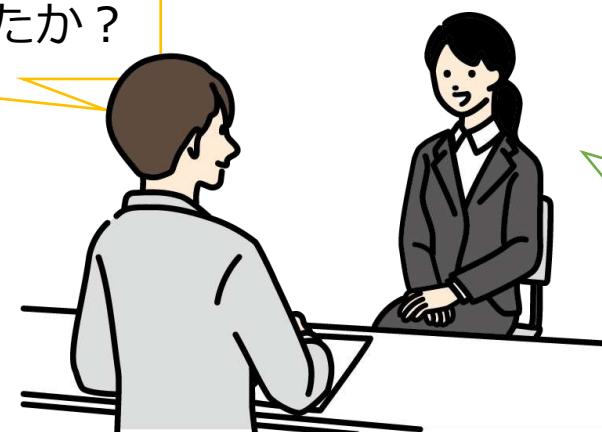
面接官の視点

Aさんの場合



事務経験は心強いけど、
ミスが多いの大丈夫かな？

どう改善や対処をしてきましたか？



自分なりの進め方でミスが多かったので、
メモをとり、復唱して確認してもらうことで
ミスが減りました

25

原因を理解し、それに対し対策や努力をする

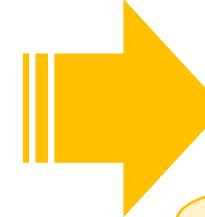
面接官の視点

Bさんの場合



Bさん

事務系の仕事がしたい
前職は作業系で未経験だが、
訓練でPCを学び資格も取得した
正確性を褒められた



業務に対しても前向きに
取り組んでいってくれるのでは？

事務職が未経験であっても



事務職に就くために
努力してきた



正確性も褒められた
経験がある

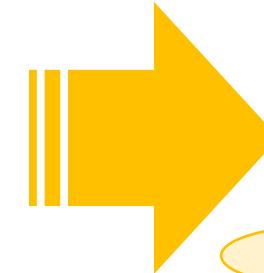
自分が得意なことと業務内容がマッチしていることの根拠につながる

Cさんの場合



Cさん

事務系の仕事がしたい
PC入力のアルバイトは3日間経験
今は工場で
検品のアルバイトをしている



事務の業務が覚えられそうかな?
作業系の業務の方が合っている?

「今の自分ができる業務は何か?」

- ・この業務が向いていると考える根拠
- ・未経験でも学ぶ姿勢があれば、具体的な取組みや目標
- ・周囲からどんな評価を受けたことがあったか

などを振り返る

自己理解で大切なこと

仕事とのマッチングを考える

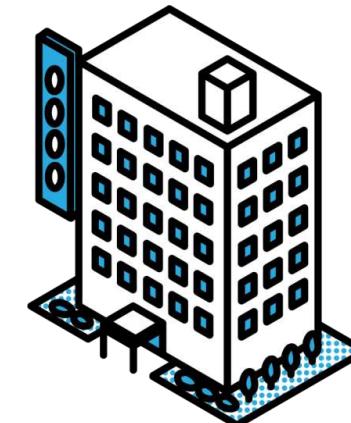
苦手・未経験だったとしても、工夫や前向きにチャレンジする姿勢が評価されることもある

「**業務に責任をもって前向きに取り組んでいけるか**」

という基準で自己理解を深めていく

- ・今自分ができること
- ・自分の得意は何か
- ・不得意や未経験でも取り組めそうなこと

を考えて仕事とのマッチングを考えよう！



自己理解で大切なこと

自己理解を深めていく

自分自身の状況と合っているのか
照らし合わせよう！



自分の価値観や考え方は経験によって変化していく
その時その時の自己理解を深めていきましょう！

面接官がみている自己理解のポイント

- ①自分で健康・体調管理ができている
- ②自分の特性を理解している
- ③自分で対処法を見つけ、実践している
- ④得意なこと、不得意なことがわかっている

**自己理解は、
応募前から取り組んでおくことが大事です！**

ご清聴
ありがとうございました

